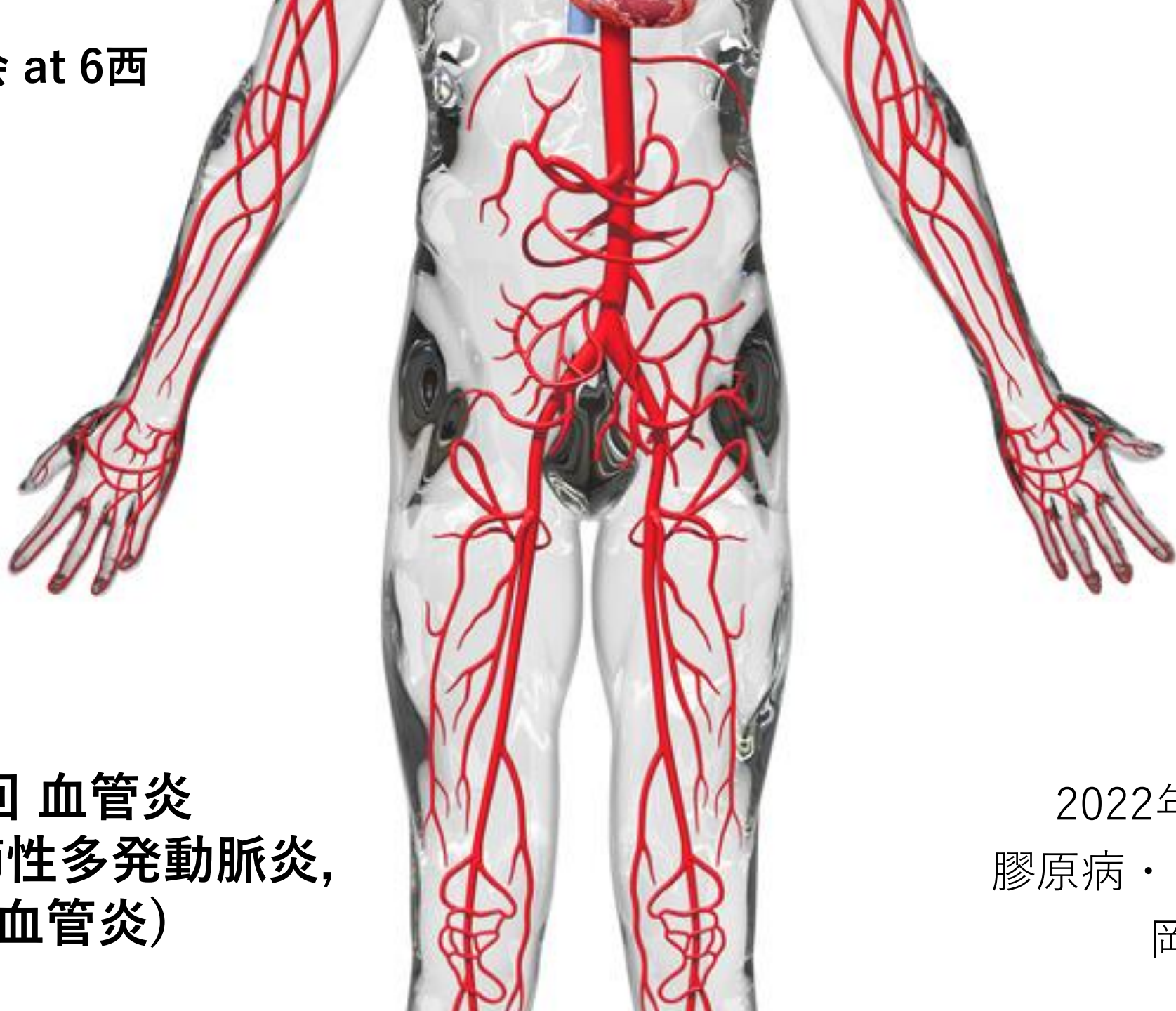




第1回 血管炎
(総論, 結節性多発動脈炎,
IgA血管炎)

2022年 5月24日
膠原病・リウマチ内科
岡秀樹



- 血管の大きさを意識する
- 血管が閉塞・破裂したらどんな症状が出現するか考える

1.血管炎とは

2.血管炎の症状

3.血管炎の分類

4.結節性多発動脈炎

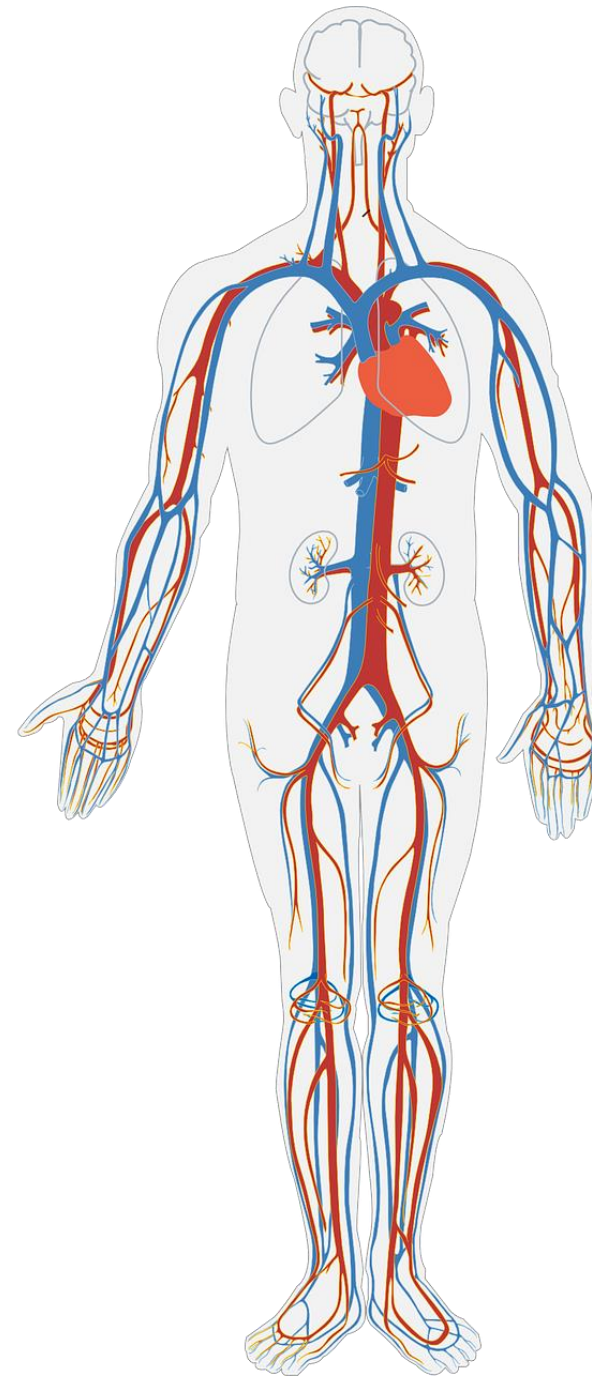
5.IgA血管炎

6.治療原則

7.リウマチケアナースの育成

- 血管には動脈と静脈の2種類.
- **血管炎**で標的となるのは基本的に、**動脈**.
- 静脈も障害される場合は、ベーチェット病や抗リン脂質抗体症候群である.

動脈が存在しない臓器はない



血管炎：(動脈の)血管壁に炎症を生じる疾患の総称

全身症状

発熱

倦怠感

体重減少

関節痛

筋肉痛

局所症状

頭痛

紫斑

耳痛

皮膚潰瘍

血痰

しびれ

胸痛

視野障害

腹痛

精巣痛

1.血管炎とは

2.血管炎の症状

3.血管炎の分類

4.結節性多発動脈炎

5.IgA血管炎

6.治療原則

7.リウマチケアナースの育成

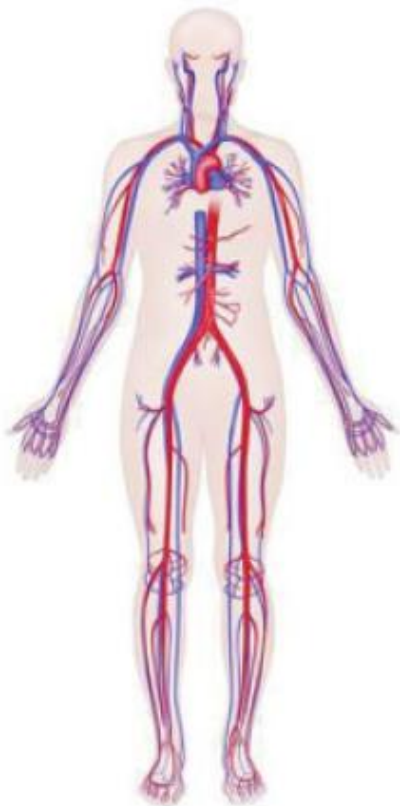
血管炎の患者さんを見たら



- ① どれくらいの径の血管か
- ② 閉塞？ 破裂？

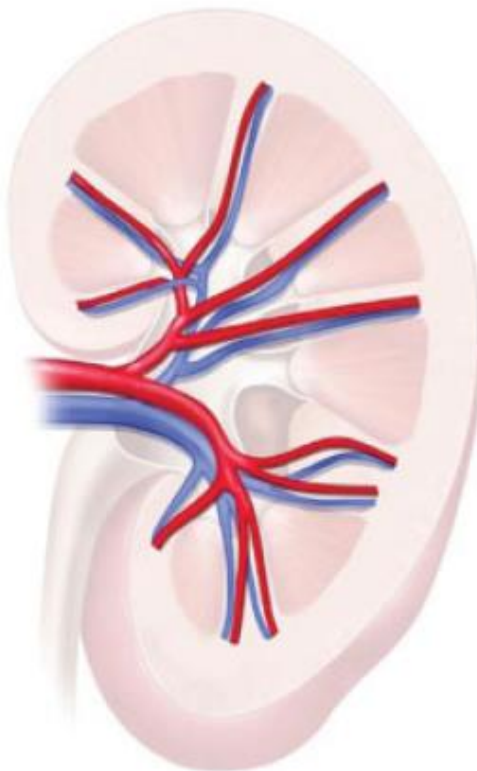
血管径による分類

大血管



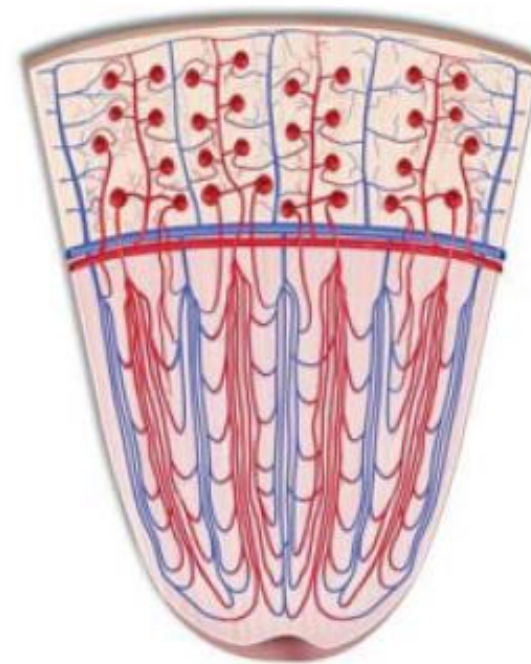
大動脈と第1分枝
(臓器に入らない)

中血管



臓器血管と第1分枝

小血管



実質内動脈, 細動脈, 毛細血管

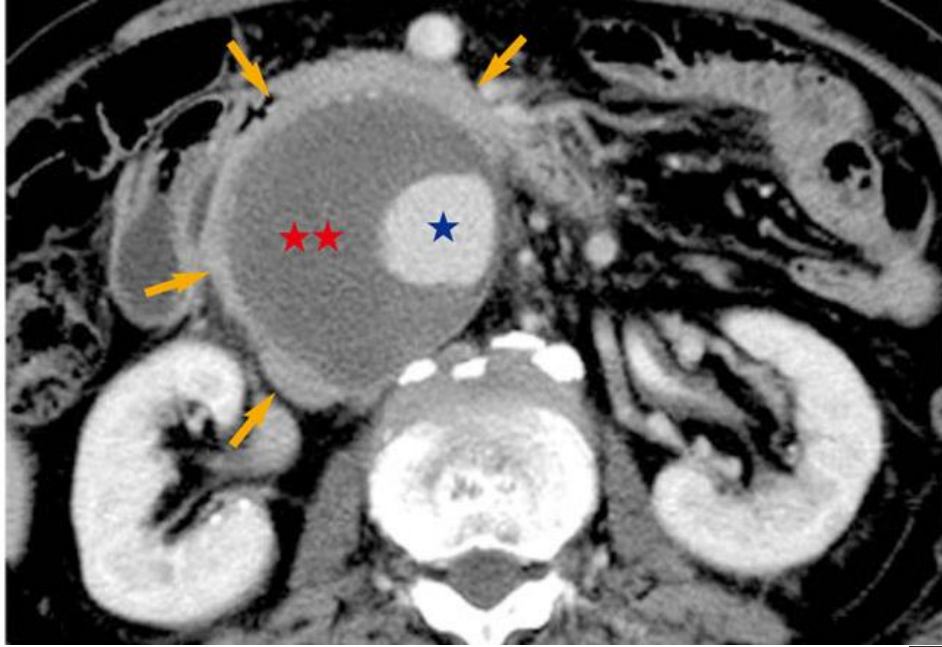
血管炎の局所症状

破れる



詰まる

破れる



腹部大動脈瘤

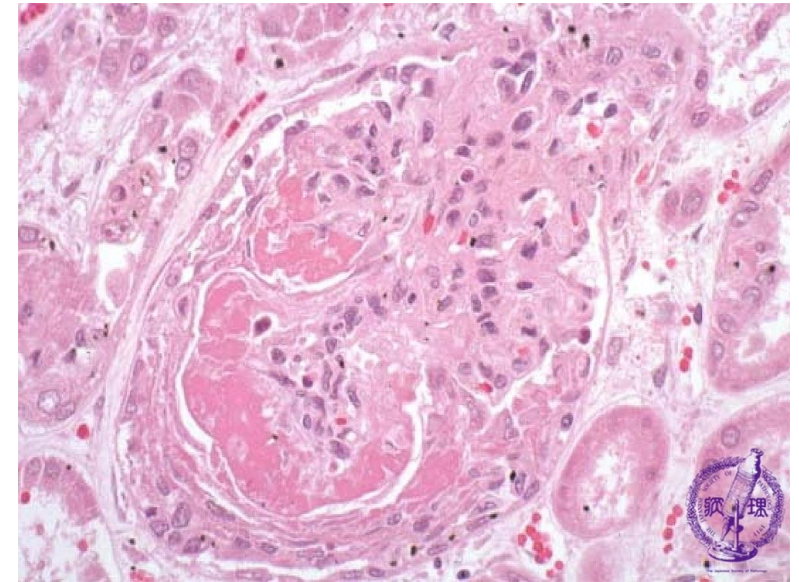


紫斑

肺胞出血



腹腔内動脈瘤破裂

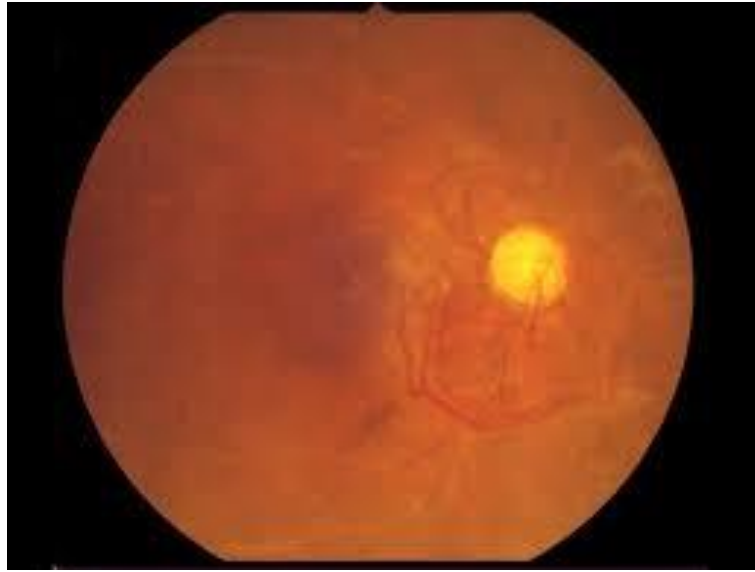


糸球体腎炎（腎臓）

詰まる



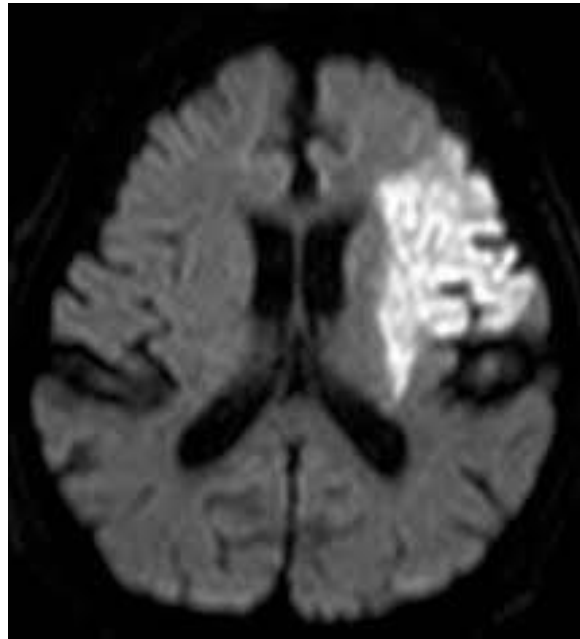
皮膚潰瘍



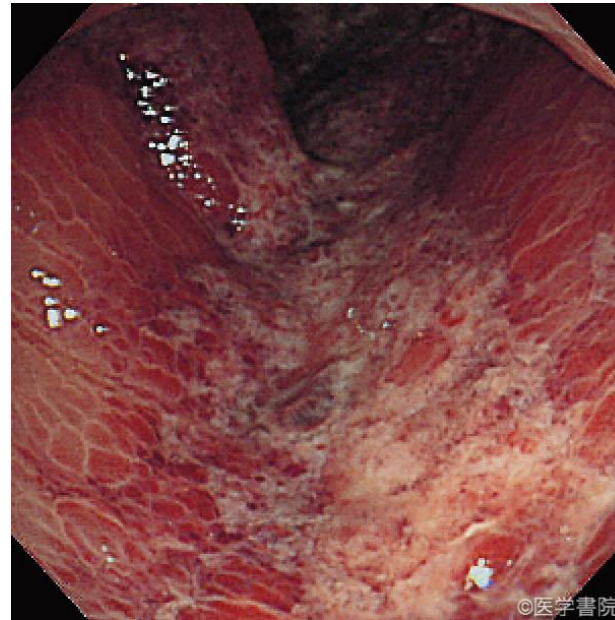
失明



多発単神経炎



脳梗塞



虚血性腸炎, 血便



下肢壊死

1.血管炎とは

2.血管炎の症状

3.血管炎の分類

4.結節性多発動脈炎

5.IgA血管炎

6.治療原則

7.リウマチケアナースの育成

どこの血管が障害されるかで, 病名, 症状が変わる.

I. 大型血管炎

高安動脈炎

巨細胞性血管炎

II. 中型血管炎

結節性多発動脈炎

川崎病

III. 小型血管炎

ANCA関連血管炎

- ・顕微鏡的多発血管炎(MPA)
- ・多発血管炎性肉芽腫症(GPA)
(旧ウェゲナー肉芽腫症)
- ・好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)
(旧Churg-Strauss症候群)

免疫複合体性小型血管炎

- ・抗基底膜抗体病(anti-GBM disease)
- ・クリオグロブリン血症性血管炎
- ・IgA血管炎(旧ヘノッホシェーンライン紫斑病)
- ・低補体蕁麻疹様血管炎(抗C1q血管炎)

IV. 様々な血管を侵す血管炎

ベーチェット病

Cogan症候群

V. 単一臓器を冒す血管炎

皮膚白血球破碎性血管炎

皮膚動脈炎

中枢神経限局性血管炎

孤発性大動脈炎 他

VI. 全身疾患に関連した血管炎

ループス血管炎

リウマトイド血管炎

サルコイド血管炎 他

VII. 原因がわかっている血管炎

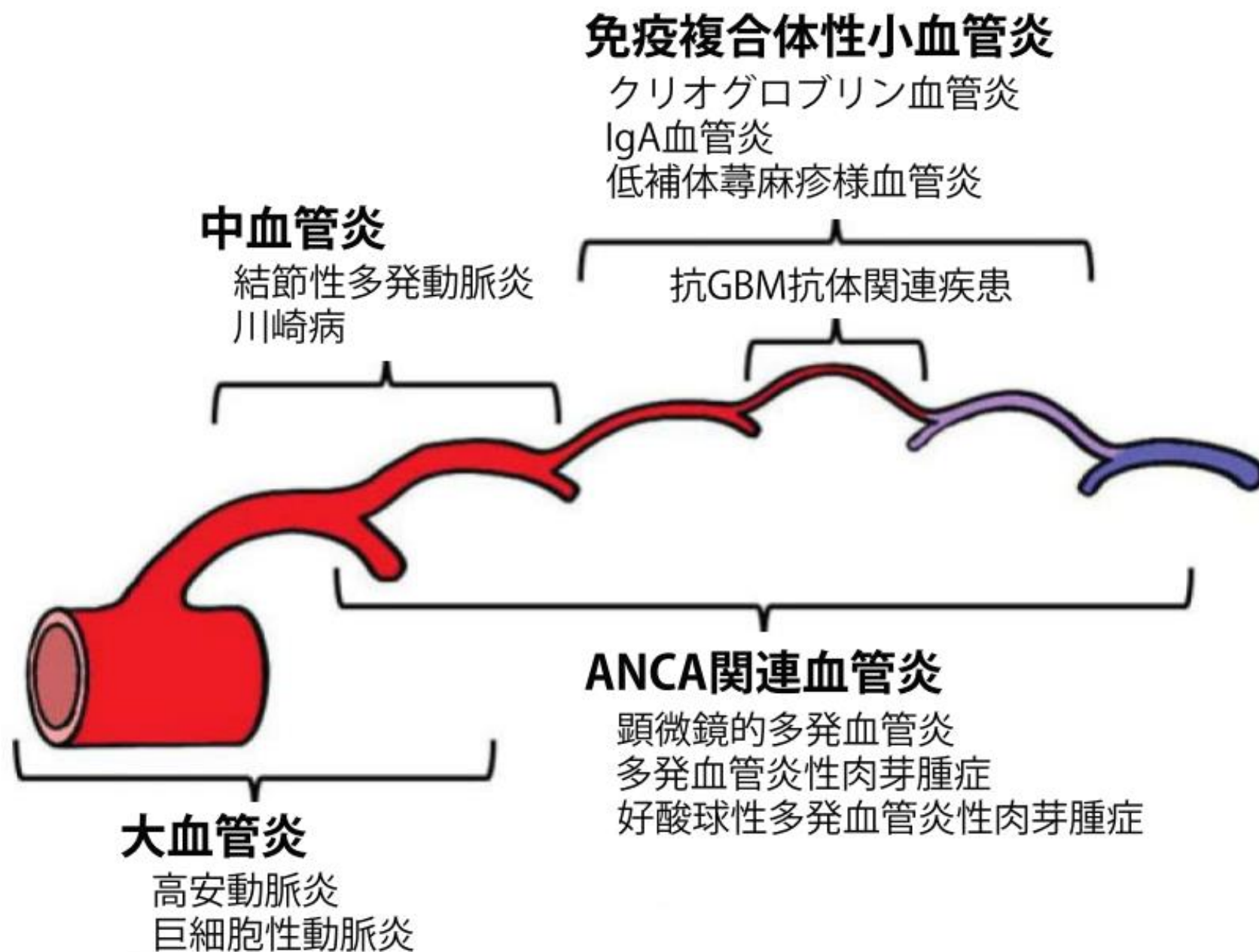
HCV関連クリオグロブリン血症性血管炎

HBV関連血管炎

梅毒関連大動脈炎

薬剤関連免疫複合体性血管炎

薬剤関連ANCA関連血管炎 他



1.血管炎とは

2.血管炎の症状

3.血管炎の分類

4.結節性多発動脈炎

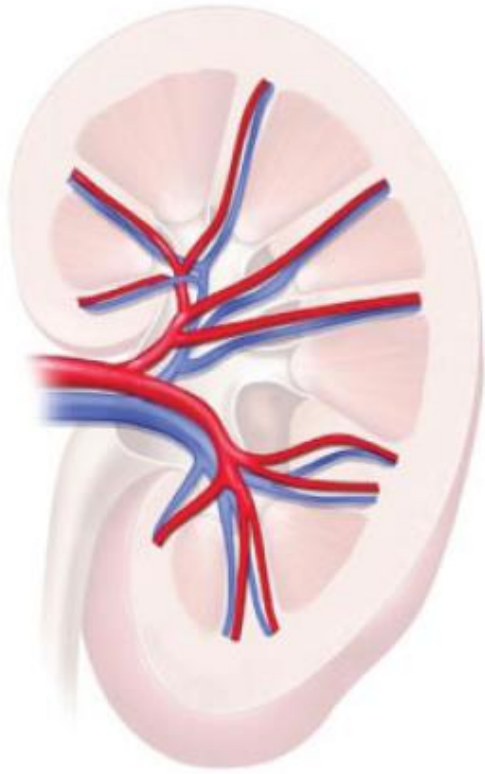
5.IgA血管炎

6.治療原則

7.リウマチケアナースの育成

結節性多発動脈炎

中血管



臓器血管と第1分枝

破れる



詰まる

結節性多発動脈炎

全身症状

発熱

倦怠感

体重減少

関節痛

筋肉痛



皮膚潰瘍



多発単神経炎



腹腔内動脈瘤破裂



精巣痛

結節性多発動脈炎

血液検査では診断できない！

<診断基準>

Definite、Probable を対象とする。

【主要項目】

(1)主要症候

- ①発熱(38℃以上、2週以上)と体重減少(6か月以内に6kg 以上)
- ②高血圧
- ③急速に進行する腎不全、腎梗塞
- ④脳出血、脳梗塞
- ⑤心筋梗塞、虚血性心疾患、心膜炎、心不全
- ⑥胸膜炎
- ⑦消化管出血、腸閉塞
- ⑧多発性単神経炎
- ⑨皮下結節、皮膚潰瘍、壊疽、紫斑
- ⑩多関節痛(炎)、筋痛(炎)、筋力低下

(2)組織所見

中・小動脈のフィブリノイド壊死性血管炎の存在

(3)血管造影所見

腹部大動脈分枝(特に腎内小動脈)の多発小動脈瘤と狭窄・閉塞

(4)診断のカテゴリー

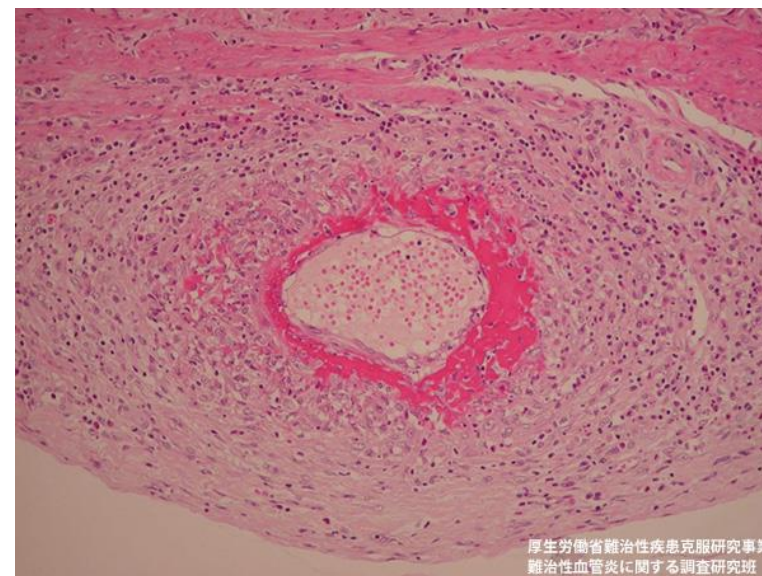
①Definite

主要症候2項目以上と組織所見のある例

②Probable

(a)主要症候2項目以上と血管造影所見の存在する例

(b)主要症候のうち①を含む6項目以上存在する例



結節性多発動脈炎

治療

ステロイド大量投与が基本（1mg/kg, パルス）

状態に応じて、エンドキサンパルス、アザチオプリン、
メトトレキサートを使用



最後に

リウマチケア看護師の募集

(リウマチケア看護師の資格)

第3条 リウマチケア看護師の登録は、申請時に3年以上の看護師実務経験が有り、リウマチ性疾患について、別に定める「リウマチケア看護師研修カリキュラム」(以下、「カリキュラム」という。)相当のケアの知識及び経験を有し、直近5年間において通算1年以上リウマチ性疾患のケアに従事し、且つ直近5年間において次の各号の要件を満たす者について行う。

- (1) リウマチ性疾患ケア指導患者名簿 10 例(関節リウマチ 3 例以上を含む)を有すること。
- (2) 前号のリウマチ性疾患ケア指導患者名簿のうち5例(前号に規定する関節リウマチ 3 例以上含む)について、リウマチ性疾患ケア指導記録の記載を有すること。
- (3) 上記(1)及び(2)の症例に看護外来、訪問看護センター、介護保険施設等の症例も対象となる。
- (4) 財団が主催し又は認定するリウマチ性疾患のケアに関するカリキュラムに相当する教育研修会(以下、「教育研修会」という。)に出席し、20 単位以上を取得した証明書を有すること。上記20 単位のうち8 単位まではリウマチ財団登録医・リウマチケア看護師・リウマチ財団登録薬剤師・リウマチ財団登録理学・作業療法士が講師として実施するカリキュラムに則った院内研修(講義、技能・技術指導等)による単位で充てることができる。この単位認定等については別途定める指導者・受講者報告書に拠るところとする。

リウマチ性疾患ケア指導記録

⑥

リウマチ性疾患
ケア指導患
者名簿番号

患者名(イニシャル)	患者番号			
年 齢	歳	性 別	男 ・ 女	
施 設 名		転 帰	治 癒 継続中 中止 転 院 死 亡	平成・令和 年 月
診 断 名*				
合 併 症				
診療区分	外来	入院	職 業	
既往歴(上記 診断名*以外)				
現 病 歴 (上記診断名* の病歴)				
治療の概要				
ケア及び 指導内容				
備 考				

※患者番号は、後日照会があった際に識別可能な任意の番号とします。(診療録等のID番号は使用しないでください)
※略語(病名・薬物名)の扱いについては、リウマチ性疾患ケア指導患者名簿と同等とします。

申請者氏名

